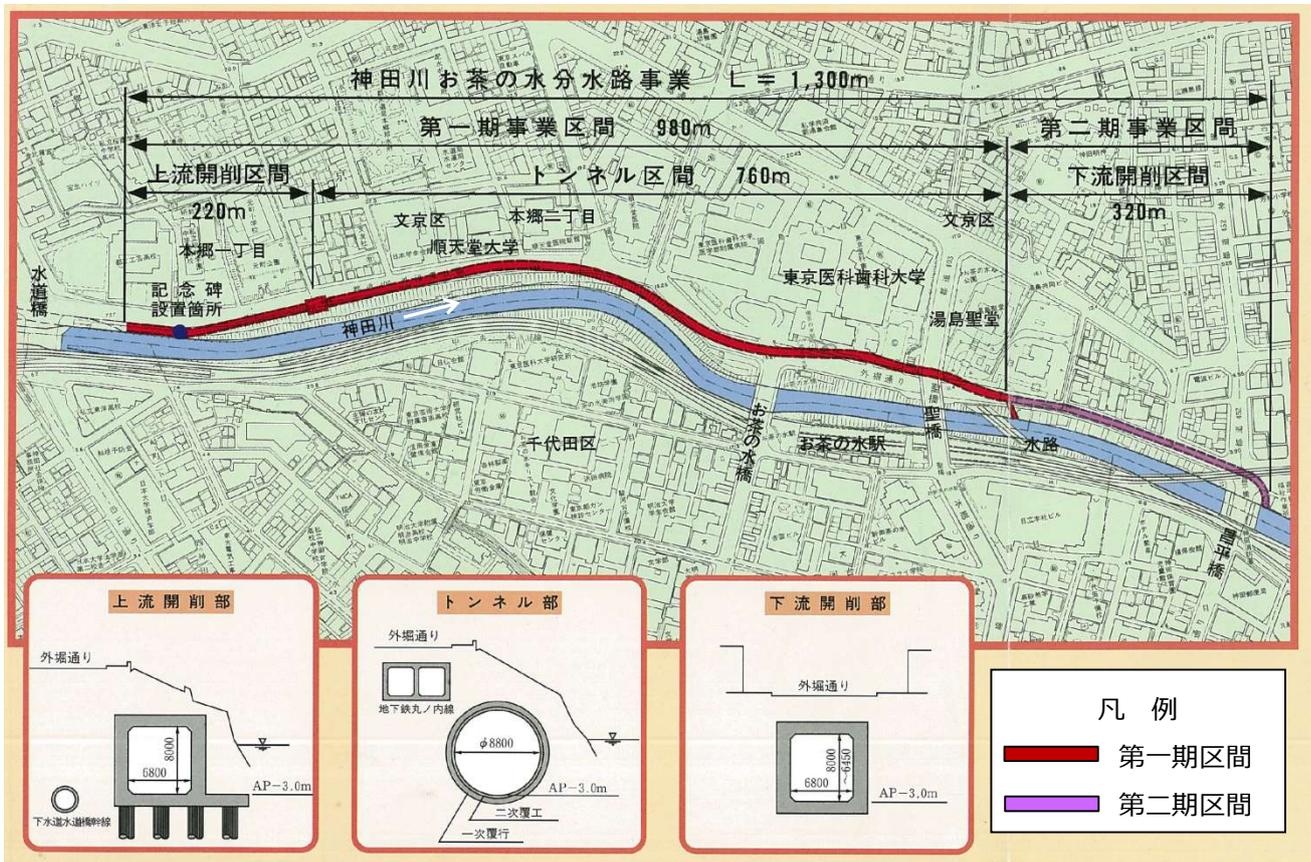


お茶の水分水路（神田川）

施設概要

お茶の水分水路は、河川沿いの高度利用が進み、河道拡幅による河道整備が困難であった神田川の中流部において、早期の治水安全度向上を図ることを目的として整備した 4 つの分水路の一つです。神田川にはこのほか、江戸川橋分水路、高田馬場分水路、水道橋分水路の 3 つの分水路があります。

この分水路は、水道橋下流で水道橋分水路及び神田川本川から分流し、昌平橋下流にて再び神田川本川に合流するもので、全区間が神田川沿いの都道 405 号線（通称：外堀通り）の地下に敷設されています。整備に当たっては、地形条件により、開削工法とシールド工法で区間分けして実施しました。昭和 62～平成 6 年度にかけて上流開削区間の 220m とトンネル区間の 760m を整備し、その後、平成 8～11 年度にかけて、下流開削区間の 320m を整備しました。



分水路内部



分水路香口

施設諸元

位置	千代田区外神田一丁目～文京区本郷一丁目	
完成年度	平成 6 年度（第一期）、平成 11 年度（第二期）	
区間	昌平橋下流～水道橋下流	
延長	1,300m	
断面構造	上流開削部	□6.80×8.0m
□：矩形、（横×縦：内空）	トンネル部	Φ8.80m
Φ：円形（内径）	下流開削部	□6.80×8.0m

位置図



●呑口位置のQRコード



●吐口位置のQRコード

